

最近の世間の話題のなかでも、人工知能「AI」は最上位に挙げられるのではないだろうか。私達の研究グループでも AI に関するさまざまな取り組みを行ってきた。単純 X 線像と CT3 次元骨モデルの対データ多数を AI に学習させることで、単純 X 線像だけから骨の 3 次元形状を推定構築する試みはその 1 つである。今回の特集で取り上げた Accurio 変形矯正システム® の運用において医師－エンジニア間の円滑なコミュニケーションを可能とするため開発中のクラウドシステムのもう 1 つの目的も、AI に関連する。運用を重ねるほどクラウドに蓄積される画像や 3 次元形状のビッグデータを AI 開発に利用することを狙っているのである。

そんな矢先、突然現れたのが ChatGPT である。AI は画像分野と最も親和性が高いと思い込んでいた私にとって、自然言語分野において AI がここまで実用化されていることは衝撃であった。早速、いろいろなことを ChatGPT で試してみた。海外からの講演招待メールの返事を書いてもらった。わずか数秒で返信文を作文してくれた。ご丁寧に、私の講演タイトルまで勝手に AI が作ってくれたのには驚いた。生来怠け者の私は、これに味を占めて今回の私の担当原稿である「上肢変形矯正の歴史」について引用文献を添えて記述するように英語で ChatGPT に問いかけた（英語のほうが精度が高いらしい）。すると、これまたあっという間に長文の回答が返ってきた。上肢の変形矯正は古代インドで始まって、近代医学では 20 世紀に入ってから矯正骨切りが始まった経緯が文献を添えて詳しく述べられていた。素晴らしい！…ところが、挙げられた文献を参照しようとしてみたが一向に見つからなかった。どうやら引用文献らしき記載は、AI が勝手に作り出しているだけのニセ情報のようだ。良心が咎めることなく簡単にフェイクニュースを作り出す AI に空恐ろしさを感じた。ファクトチェックのできない素人が間違った使い方をしたらどうになってしまうのだろうか？ AI が爆発的に広まるであろうこれからの世界に、期待とともに一抹の不安を感じる今日この頃である。

(村瀬 剛)

令和 5 年 6 月 19 日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.42 No.6

発行：年 14 回（年 12 回発行＋増刊号 2 回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 山崎正志／田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区電戸 7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541